

## 第 28 回 小山市地域公共交通会議 議事要旨

### ■開催の概要

1. 日 時：2017. 6. 15（木） 14:00～15:30
2. 会 場：小山市役所 3 階 大会議室北  
出席者：永井副委員長、  
[委 員]：高橋、大山、中島、福島、小矢島、鉢村、西根、田中、  
川又、栗田、川中子、鈴木、菊池、大芦  
[委員代理]：渡邊（生沼委員）、古橋（黒岩委員）、山口（益子委員）  
(以上 計 18 名)
3. 議 題：(1) 平成 28 年度運行状況について  
(2) 高岳線、城東中久喜線の利用者増に伴う新規車両導入について  
(3) 大谷中央線、土塔平成通り線の利用者増に伴う  
車両大型化及び路線再編について  
(4) 間々田東西線の路線再編について  
(5) 羽川線のダイヤ変更について  
(6) 小山市生活交通確保維持改善計画について  
(7) 障がい者割引について  
(8) その他
4. 報告事項：(1) おーバスまつりの開催について  
(2) 市民病院線の路線再編について  
(3) その他

### ■議事要旨

#### ●開会・挨拶等

- ・事務局から、新委員への委嘱状交付があった。
- ・今年度より、コミュニティバス担当が「市民生活部生活安心課」から「都市整備部都市計画課」へ所管替えとなった報告がされ、担当職員の紹介があった。

#### ●議 題

##### (1) 平成 28 年度運行状況について

資料 1 に基づき、事務局より説明があり、質疑応答の後、了承された。

##### [主な質疑応答]

- (委 員) デマンドバスで、月によって利用者の変動があるが、理由が分かれば利用促進の方策を立てやすいと思うが、その原因は分析しているか？  
→ (事務局) 例えば、桑一絹エリアでは、団地住民の高齢化が進んでいる扶桑団地や、イオンモール、栃木南病院などの利用者が多くなっているが、変動の要因については利用実績や車内アンケートの分析中であり、次回会議にはお知らせしたいと思う。
- (委 員) 資料 4 p の全体の運行比較の概要は？  
→ (事務局) 平成 27 年度に比べて、平成 28 年度は利用者数が増加しているが、それに伴う経費も増えているというところである。
- (委 員) 需要に応じた車両を使用するように努力しているが、バスの新車はオリンピック開催の影響で 3 年待ちのためすぐに導入できない状況にある。そのため、こまめな修理は自社で行っており、なんとか保守しながら使用して

いる状況にある。

(委員) 補助金の上限や条件などは？上限があるなら、早く利益効率を上げなければならないのでは？収支率が5割を切っているというのはやや心配に感じるが。

→(事務局) 上限はないが、実際の補助額は、平成28年度は12,684千円、平成29年度は784万円と減少してきている。

(委員) 栃木県全体で見ると、小山市の公共交通の収支はとても良い方である。

## (2) 高岳線、城東中久喜線の利用者増に伴う新規車両導入について

資料2に基づき、事務局より説明があり、質疑応答の後、了承された。

○高岳線に新規大型車両(定員63人)を導入する。

○城東中久喜線は定員34人→59人(高岳線で使用していた車両)に変更する。

○大谷中央線は定員27人→34人(城東中久喜線で使用していた車両)に変更する。

○土塔平成通り線は定員13人→27人(大谷中央線で使用していた車両)に変更する。

○これらの変更により、以上の各路線の車両が大型化されることとなる。

### [主な質疑応答]

(委員) 高岳線は、雨天時は乗車出来ないことがあるので、早くバスの大型化をしてほしい。59人から63人では、あまり増えない感じがするが。

→(事務局) ニュータウン内は道が狭いため、あまり大きな車両は運行できない。城東中久喜線への車両の転用による大型化と合わせてニュータウン方面への全体的な定員を増やすことで対応するという考えである。

(委員) 高岳線は、もっと大きな車両でも走行できるのでは？

→(事務局) 新車の購入は時間がかかることもあり、現時点で購入できる中古車両が63人乗りであったため導入を決めた。

(委員) ぜひ将来的には、もっと大きなバスをお願いしたい。

## (3) 大谷中央線、土塔平成通り線の利用者に伴う車両大型化及び路線再編について

資料3に基づき、事務局より説明があり、質疑応答の後、了承された。

○乗り残しの発生や増便要望があることから、現在の交互運行から単独運行へ変更する。

○「土塔平成通り線」の路線延伸を図り、「関東能開大前」まで行く路線とする。

○この議題について了承された場合、車内アンケート等で意向調査等を行う予定である。

### [主な質疑応答]

(委員) 車両導入については、同じバス会社内での入れ替えとなるのか？

→(事務局) すべて大山タクシーの路線であるので、再編成が可能となった。

## (4) 間々田東西線の路線再編について

資料5に基づき、事務局より説明があり、質疑応答の後、了承された。

○以下の項目の路線再編を図る。

①しらさぎ館ルートの復活に伴う路線再編

②以上の路線再編に伴うバス停の増設及び現路線のバス停増設[美しが丘整骨院、

西黒田下、美しが丘1丁目（第二くわの実）、五料（右折し市民病院へ向う側）、  
間々田小前、しらさぎ館]

③増便（光南病院への便、最終便、小山南高校から間々田駅東口）

④ダイヤ調整（光南病院においての間々田便との乗り継ぎ調整）

[主な質疑応答]

（委員）しらさぎ館の増便要望もある、光南病院の利用も便利になると思うので、  
地域のみなさんの要望が実った形になったかと思う。

（5）羽川線のダイヤ変更について

資料5に基づき、事務局より説明があり、質疑応答は特になく、了承された。

○実証運行の結果、路線延長に伴いダイヤがきつい部分が判明したため、ダイヤ変更を図る。

（6）小山市生活交通確保維持改善計画について

資料6に基づき、事務局より説明があり、質疑応答の後、了承された。

[主な質疑応答]

（委員）国庫補助金の割合は下がっているのか？

→（事務局）国庫補助金は、ここ数年は毎年200万円程下がっている。

（7）障がい者割引について

資料7に基づき、事務局より説明があり、質疑応答は特になく、了承された。

（8）その他

（1）～（6）までを総括して、質疑応答を行った。

[主な質疑応答]

（委員）資料に事前にゆっくり目を通しておきたいので、事前に送ってもらえると  
助かる。

→（事務局）そのようにしたい。

（委員）今回の再編成（車両大型化、増便、ルート変更）については、何らかの指  
標を設定して効果や経過を見たい。

→（事務局）利用者数、収支の変化や、車内アンケート調査などによる意向を把握  
していきたい。

●報告事項

（1）おーバスまつりの開催について

資料に基づき、事務局より説明があった。

（2）市民病院線の路線再編について

資料8に基づき、事務局より説明があった。

[主な質疑応答]

（委員）小山駅西口～旧市民病院のルートを残す意味はあるのか？

→（事務局）旧市民病院の近隣地区の交通手段として残しておく。

（委員）飯塚や南半田地区へは路線バスが廃止されてしまったが、飯塚琵琶塚古墳群がオープンするので、まちづくりのためにも人を呼びたいと考えている。来訪者の交通手段としてバス路線を整備して欲しい。

### （３）その他

- ＰＣ、スマートフォン、携帯端末等から、おーバスの時刻表や乗継案内が「ジョルダン」と「ナビタイム」で見ることができるので是非ご利用いただきたい。尚、ジョルダンの方が若干見やすい構成となっている。
- 生活安心課管轄の安全安心情報メールでは、気象・災害情報、交通安全情報等のほかに、おーバス運行情報を受信することができるので、是非ご利用いただきたい。尚、おーバスの遅延情報については、15分以上遅れた場合に発信される仕組みとなっている。

（以 上）